

日本共産党

高槻市議員

宮本雄一郎

つうしん

発行：日本共産党高槻市議員団 宮本雄一郎
連絡先：議員団控室電話 072-674-7230
自宅：高槻市氷室町2丁目14-2 TEL 072-695-1900
mail: miyamochi0203@yahoo.co.jp



四中校区の小中一貫校

富田小敷地案示される

高槻市は四中校区で赤大路小、富田小、四中を統廃合し、小中一貫校とすることを検討してきました。3月16日の市議会に設置場所を現在の富田小学校の敷地とする案を示しましたが、市の案、また一貫校そのものが、通学の安全や子ども達の学び、地域コミュニティ、防災などの面で、大きなデメリットとなります。

通学距離・安全の問題

現在の赤大路小学校から富田小までの距離は最長で2キロあります。また、赤大路町の最も北西側から通学する場合、国道171号線、JR京都線、阪急

大規模校で学びに支障が

4中校区3校の学校規模は3月15日現在、計32学級です。校区では今後、富田町で市営富寿栄住宅の建て替えが行われます。子育て世帯向けの部屋も整備されます。また、団地を集約・高層化するこ

とで生まれる余剰地の住宅開発も考えられ

ます。子どもの人数が大きく増えることが想定されます。文部科学省は小中一貫校の学級数の上限を、教育活動に大きな制約が生じないように「おおむね27学級」としています。これを大きく超える可能性があります。

保護者・住民の合意なしはありえない

学校は地域のお祭りやスポーツの場、災害時の避難場所にもなっています。国会ではそのことを踏まえて、小中一貫の問題点が議論された結果「安易に学校統廃合を行わないよう留意すること」と決議しています。

私は市議会でも「一貫校の設置は保護者・住民の合意が前提との立場に立つべき」「検討した上で、子どもの成長・発達に問題があれば、一貫校を作らないという選択肢も持つべき」と強く求めました。

中学校35人学級が実現！ 長年の共産党市議団の要望が実る

濱田剛史市長は3月市議会において、中学校で35人学級をスタートさせることを表明しました（来年度1年生、再来年度2、3年生で実施）。

私は市議会でも中学校での少人数学級実施を繰り返し求めて



2021年度今後のスケジュール

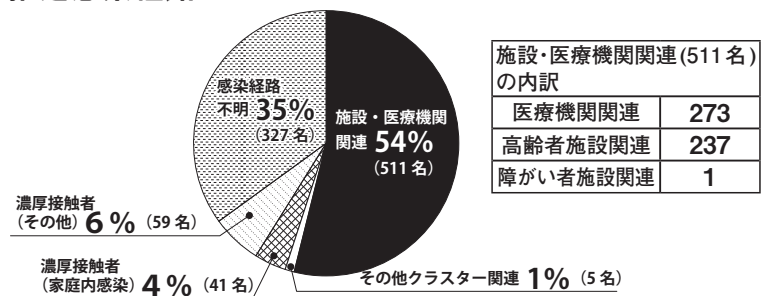
- 6月頃 ワークショップ 等
- ↓
- 施設の在り方 整備イメージ等
- ↓
- 12月頃 パブリックコメント
- ↓
- 2月頃 「小中一貫校構想」を含む「富田地区まちづくり基本構想」策定

ワクチンと同時並行で 医療機関を含めた大規模検査を

国内で新型コロナウイルスの接種が始まっていますが、その効果が社会全体に行き渡るにはまだまだ時間がかかります。ワクチンと同時に並行で幅広くPCR検査を行い、無症状の感染者を把握・保護することで感染を抑えることが必要です。

高槻市は高齢者・障がい者の入所施設・救護施設の従事者を対象に週一回PCR検査を行っていますが、市内では医療機関でもクラスターが起こっています。大阪で、感染経路がわかっている死亡者は、第3波以降は医療機関での感染が最も多くなっています（下表参照）。日本共産市議団は3月市議会で医療機関の職員、入院患者、施設の利用者などに検査対象を広げることが求めました。

10月10日以降の大阪府における死亡例（943人）の推定感染経路（3/25判明時点）



(第40回大阪府新型コロナウイルス対策本部会議資料より)

介護保険料の 値上げに反対

前回（2018年度）の介護保険料の見直しでは、基準額は年間約3000円の値上げでしたが、今回は6204円の大幅値上げで、全員が値上げになります。低所得者の保険料は、第1段階（月の収入が6万6000円以下の人）でも年間1861円、第3段階は4033円

の値上げです（下表参照）。コロナの影響は今年も続きます。日本共産市議団は3月市議会で値上げに反対しました。また、介護保険料の減免の対象拡大を市に求め、根本的には国が介護保険への費用負担を増やすことが必要と主張しました。

4月以降の介護保険料の一部

段階	次期保険料の対象者	年額保険料		増加額
		現行	次期	
第1段階	・生活保護受給者 ・老齢福祉年金受給者で世帯全員が市民税非課税者 ・世帯全員が市民税非課税で被保険者の合計所得金額（公的年金等に係る所得を除く）と課税年金収入額の合計が年額80万円以下の者	18,300円	2,0161円	1,861円
第2段階	・世帯全員が市民税非課税で被保険者の合計所得金額（公的年金等に係る所得を除く）と課税年金収入額の合計が年額120万円以下の者	24,400円	26,882円	2,482円
第3段階	・世帯全員が市民税非課税で第1、第2段階に該当しない者	39,650円	43,683円	4,033円
第4段階	・被保険者が市民税非課税でかつ課税年金収入額+合計所得金額（公的年金等に係る所得を除く）が80万円以下であって世帯の中に市民税課税者がいる者	51,850円	57,124円	5,274円
第5段階（基準額）	・被保険者が市民税非課税で世帯の中に市民税課税者があり、第4段階に該当しない者	61,000円	67,204円	6,204円

困難を抱える方の相談窓口 高槻市くらしごとセンター

コロナ禍で失業・休廃業などが急増しています。高槻市では生活や家計に困難を抱えている方に対して、相談員や就労支援員が各種関係機関と連携して、課題解決のサポートを行っています。ぜひ、ご相談ください。



Tel 674-7767
(土日祝日は休み)

小学校図書館の支援が後退

小学校の図書館に配置されている「図書館支援員」は日々、本の整理や貸し出しを行いつつ、子ども達が授業の参考にしている本をそろえるなど子どもと教員を支援しています。

しかし、3月の職員募集で、現場への説明なしに、配置時間が短い「読書活動協力員」に突如変更されました（現在従事している図書館支援員はそのまま）。また、昨年の応募要件にあった「図書館司書か司書教諭の資格」の記述がなくなりました。

文部科学省はあらたな「学習指導要領」で授業などに学校図書館を活用することを求めています。私は3月16日の市議会ですることを踏まえ、「支援員の役割は今後いっそう大きくなる」「授業改善に支障が出る」と指摘・批判し、このような見直しは中止することを強く求めました。

高槻市議会ホームページで市議会本会議の録画がご覧いただけます。

高槻市議会 録画

宮本雄一郎

～困りごと相談～

☎ 072-674-7230 まで

気軽に
ご相談ください

